

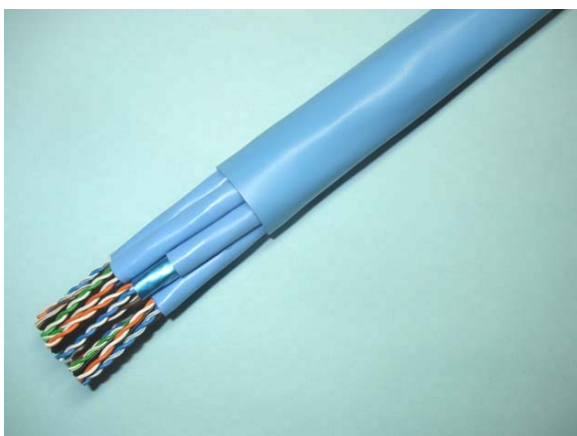
**Cat. 6A対応 インナーシース型UTP多対ケーブルの販売開始**

富士電線株式会社（本社：神奈川県伊勢原市、代表取締役社長：城和 信夫）は、Augmented Category 6（Cat. 6A）に対応したUTP（無遮へい）LANケーブルのラインアップ強化製品として、**インナーシース型多対ケーブル「TPCC 6A IS 23AWG×24P」**を開発いたしました。

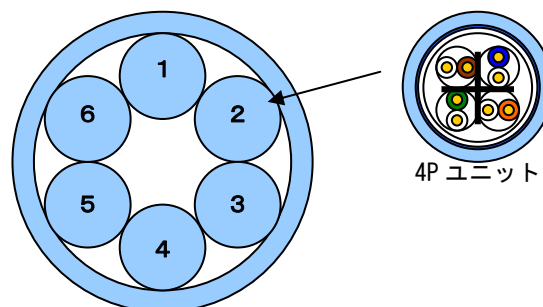
本製品は、今年6月に販売開始した「TPCC 6A 23AWG×4P」と同様、コネクタ端末部のシールド処理が不要なエイリアンクロストークに対応したケーブルであり、周波数帯域500MHzまで安定した電気特性を有しています。また、ケーブル被覆材料には環境に優しい鉛フリーPVCを採用しており、EMケーブルも対応可能です。

**新製品の特長**

- ・インナーシース型多対ケーブル
- ・6口ローゼット用に便利
- ・インナーシース上のナンバリングにより識別可能
- ・仕上外径：約25mm
- ・概算質量：430kg/km



適合ジャック パンドウイット製「CJ6X88TG□□」



現在、メタル通信ケーブルの市場は、ギガビット伝送（1000BASE-T、1000BASE-TX）に対応した Cat. 5e や Cat. 6 ケーブルが主流となっていますが、10GBASE-Tに対応した Cat. 6A ケーブルは、病院・学校等で行配線としての採用が増加していると共に、データセンター規格である ISO/IEC24764 や TIA-942A においても Cat. 6A 配線を推奨しています。

このような背景から、Cat. 6A ケーブルはユーザーの関心も高く、今後本格的な需要拡大が見込まれております。弊社では、TPCC シリーズ製品のラインアップ拡充に取り組むと共に、Cat. 6A シリーズで年間3億円の販売高を目指しております。

以上

この件に関するお問い合わせ先：

【広報関係】昭和電線ホールディングス株式会社

経営企画部 IR・広報グループ [担当 菅井] TEL：03-5404-6951

【製品関係】富士電線株式会社

生産本部 甲府工場 通信技術課 [担当 河田] TEL：055-285-1211